

Pyramix v15 インストール手順

このドキュメントでは、Pyramix v15.x のインストール方法について解説します。

ドキュメントは作業手順に従い、以下の順で解説しています。

- 1. 必要なファイルのダウンロード
- 2. 現在のアプリケーション設定のバックアップ
- 3. 現在のアプリケーションのアンインストール
- 4. <u>新しいアプリケーションのインストール</u>
- 5. <u>オーディオ I/O ファームウェアのアップデート</u>
- 6. バックアップしたファイルの適用

また最後に、現在までに報告されたことのあるV15インストーラーのトラブルを挙げています。

7. トラブルシューティング

*注意:作業の事前にコントロールパネル>回復>システムの復元の構成で「システムの保護」を開き、「作 成(C)」ボタンで現在の状態(良好に動作している状態)を復元ポイントとして作成しておくことをお薦めしま す。

このドキュメントには多くのリンクが含まれています。リンクが切れている場合は下記にお知らせください。 mailto://tech@dspj.co.jp



. dsp Japan Ltd, 4-8-5 Nakameguro, Meguro-ku, Tokyo 153-0061 T: 03-5723-8181 F: 03-3794-5283 U: http://www.dspj.co.jp

必要なファイル 1.

アップデート/新規インストールに必要なファイルは使用環境により変わります。以下より使用環境に合わせてダ ウンロードしてください。

v15 から Flux や VB のプラグインのインストーラーは Pyramix インストーラーに含まれなくなりました。また Flux社のプラグインは、今後は iLock で管理されることになります。

Nativeユーザーで、Merging社製以外のASIO機器を使用しているユーザー

- 1. Pyramix v15 インストーラー(ユーザー登録が必要です)
- 2. Pyramix v15 ライセンスキーファイル
- 3. ASIO機器のドライバー(64bit OS対応のもの)
- 4. Flux VS3 プラグイン(オプション)
- 5. <u>VB VS3 プラグイン(オプション)</u>

Native + RAVENNA/AES67機器(Horus/ Hapi/ Anubis)を使用しているユーザー

- 1. Pyramix v15 インストーラー(ユーザー登録が必要です)
- 2. Pyramix v15 ライセンスキーファイル
- 3. Merging Audio Device
- 4. ANEMAN
- 5. Flux VS3 プラグイン(オプション)
- 6. VB VS3 プラグイン(オプション)
- 7. <u>Merging社I/O製品の最新ファームウェア</u>

MassCoreユーザー

- 1. Pyramix v15 インストーラー(ユーザー登録が必要です)
- 2. Pyramix v15 ライセンスキーファイル
- 3. ANEMAN
- 4. <u>Merging Audio Device</u>(オプション)
- 5. Flux VS3 プラグイン(オプション)
- 6. VB VS3 プラグイン(オプション)
- 7. <u>Merging社I/O製品の最新ファームウェア</u>

Pyramix v15 ライセンス キーファイルは、ASMに参加されているユーザー様以外は有償です。 Pyramix の購入先までお問い合わせください。



ファイルのダウンロードリンクー覧

アップデート/新規インストールに必要なファイルは、使用環境により変わります。以下より必要なファイルをダウ ンロードしてください。

Pyramix 本体

Pyramix v15 インストーラー <u>https://www.merging.com/support/downloads#pyramix</u>(ユーザー登録が必要です)

Merging社製オーディオI/O機器を使用している場合

- (Merging社製品間のAoIPを接続するアプリケーションです) • ANEMAN https://www.merging.com/support/downloads#aneman
- Merging Audio Device (Windows10で、AES67を使用するためのドライバーです) https://www.merging.com/support/downloads#mad
- Anubis ファームウェア https://www.merging.com/support/downloads#current-anubis-downloads
- Horus ファームウェア https://www.merging.com/support/downloads#current-horus-downloads
- Hapi ファームウェア https://www.merging.com/support/downloads#current-hapi-downloads
- Hapi MKII ファームウェア https://www.merging.com/support/downloads#current-hapi-mk-i-i-downloads

オプションのプラグインソフトウェアが必要な場合

- Flux VS3 プラグイン(オプション) https://www.fluxhome.com/download
- VB VS3 プラグイン(オプション) https://betadownload.merging.com/ExternalLinks/3rd Party/VBplugins VS3 Installer.exe

ライセンスキー ファイル

YourMTPersonalKey_Pyramix_15___SN_50000xxxx.mtk と名前がついたファイル

Pyramix v15 ライセンス キーファイルは、ASMに参加されているユーザー様以外は有償で す。Pyramixの購入先へお問い合わせください。

必要なファイルが揃ったら、次の章に進んでください。



2. 現在使用している情報のバックアップ

この項目は旧バージョンのPyramixを使用しているユーザーのみが必要です。新規インストールの場合は必要 ありませんので 4章 へ行ってください。

バージョンアップをされる方

現在使用しているPyramixの必要なファイルをバックアップしてください。 設定のアーカイブを取っておくと再インストール後のリカバーが効率よく行えます。 各設定は、以下の方法でバックアップを行うことができます。分かりやすい場所にバックアップしてください。

- **Settings > All Settings** の設定は、All Settings ページの最下部に Save ボタンがあります。
- Macros は、Macro ページに Save ボタンがあります。
- キーボードのショートカットは Settings > Keyboard shortcuts のページにSaveボタンがあります。
- **Project > Render > FX Rack**の Preset は、**Save Preset > Save** でアーカイブできます。
- レイアウトと**Template**は、ドキュメント > Merging Technologies フォルダーに保存されます。
- デスクトップ レイアウトは、Settings > All Settings > Application > Desktop Layout で保存でき ます。
- プラグインの設定は、 C:\ProgramData\Merging Technologies\Plugins list にある .pms ファイル をアーカイブしてください。
- その他の Pyramixの設定(Monitor, FX Rack, Final Check など)は、 C:\Users\<USER NAME>\AppData\Roaming\Merging Technologies\Pyramix に保存されています。フォルダごとバックアップしてください。
- VCubeのプリセットは、プリセットタブで保存できます。
- VCubeのキーボード ショートカットは、ショートカット タブで保存できます。
- ANEMAN の接続設定は、ANEMANの World View 欄(通常左側にある機器表示部分)で使用して いる機器を全てマウスのドラッグで選択し、Action > Save Connection で保存してください。
- オーディオ I/O(Horus, Hapi, Hapi MKII, Anubis)の設定を保存したい場合は、各オーディオ I/Oの Web GUI で Preset として保存後、その Preset をPCにダウンロードすることが可能です。

必要な情報のバックアップが終わったら、次の章に進んでください。





3. 現在使用しているアプリケーションのアンインストール

この項目は旧バージョンの Pyramixを使用しているユーザーのみ実行する必要があります。 新規インストールの場合は必要ありませんので飛ばしてください。

- 1. 全てのアプリケーションを終了させてください。 Windows ログイン時に自動的に開始される MTDiscovery も終了させてください。
- 2. 「コントロールパネル > プログラムと機能」を開き、「Pyramix Virtual Studio x64[vxx.x.x]」をアン インストールしてください。
- 3. アンインストール後、PCを再起動させてください。

※ Hapi / Horus を使用しているユーザー

- 4. 「コントロールパネル > プログラムと機能」を開き、「ANEMAN」をアンインストールしてください。
- 5. 「コントロールパネル > プログラムと機能」を開き、「Merging Ravenna ASIO Driver または MAD(Merging Audio Device)」をアンインストールしてください。

アンインストール後、PCの再起動が必要です。

※ VCube, PyraCube ユーザー

6. VCubeをご使用の場合、同様に VCube をアンインインストールしてください。

アンインストール後、PCの再起動が必要です。

- 7. ※ アンインストール後、再度「コントロールパネル > プログラムと機能」を開き、以下のアプリケーショ ンがアンインストールされていることを確認してください。
 - Pyramix Virtual Studio Vxxxx
 - Ovation Vxxxxx
 - VCube Vxxxx
 - Merging Ravenna Asio Driver Vxxxx (または Merging Audio Driver Vxxxx)

◎ プログラムと機能						- 0	×
← → * ↑ 🖬 « ᠯᡤ((0))	ントロール パネル項目 → プログラムと機能	ٽ ٧	○ プログラムと機能	の検索			
コントロール パネル ホーム	プログラムのアンインストールまたは変更						
インストールされた更新プログラムを 表示	プログラムをアンインストールするには、一覧からプログラムを選択	えして (アンイ	ンストール]、[変更]、または	は[修復] をクリックし	ます。		
 Windows の機能の有効化または 無効化 	整理 ▼ アンインストール 変更 修復						0
	名前	并行元		インストール日	サイズ	パージョン	^
	Microsoft Visual C++ 2010 x86 Redistributable - 10.0	Microsof	t Corporation	2021/05/11	11.1 MB	10.0.40219	
	Wicrosoft Visual C++ 2012 Redistributable (x64) - 11.0	Microsof	t Corporation	2020/08/13	20.5 MB	11.0.61030.0	
	Wicrosoft Visual C++ 2013 Redistributable (x64) - 12.0	Microsof	t Corporation	2021/04/16	20.5 MB	12.0.30501.0	
	Microsoft Visual C++ 2013 Redistributable (x86) - 12.0	Microsof	t Corporation	2021/04/16	17.1 MB	12.0.30501.0	
	Hicrosoft Visual C++ 2015-2019 Redistributable (x64)	Microsof	t Corporation	2021/05/11	22.5 MB	14.26.28720.3	
	Microsoft Visual C++ 2015-2019 Redistributable (x86)	Microsof	t Corporation	2021/05/11	20.2 MB	14.26.28720.3	
	mvMeter2 2.2.6	TBProAu	dio	2021/06/08	19.9 MB	2.2.6	
	🧧 NVIDIA グラフィックス ドライノ(- 456.71	NVIDIA C	orporation	2021/03/16		456.71	
	Ovation x64	Merging	Technologies	2021/10/13	36.5 MB	9.0.7.9134	
	Opyramix Virtual Studio x64	Merging	Technologies	2021/10/13	946 MB	13.0.7.9134	
	QuickTime 7	Apple Inc		2021/03/02	69.1 MB	7.79.80.95	
	😹 Realtek High Definition Audio Driver	Realtek S	emiconductor Corp.	2020/08/12	46.6 MB	6.0.1.8668	
	🛞 rtpMIDI	Tobias Er	chsen	2020/08/13	21.1 MB	1.1.14.247	
	1 C UD D C		10. C	-	505140	F 5 4 3	



4. 新しいアプリケーションのインストール

Pyramix v15 のインストール

- Pyramixをインストールするには、管理者のアクセス権が必要です。ログイン時に「管理者(Administrator)」権限でログインしてください。
- 新規でインストールする場合は、インストール時にUSBライセンスドングルを挿さないでください。
- 新規インストールする場合は、PCの設定が終わっていて、DPC Latency テストに合格していることを 確認してください。詳しくは参考文献をご覧ください。

Native ユーザー

- 1. Pyramixインストーラー(PyramixVirtualStudio 15.0.x HotFixN Buildxxxx x64.exe)をダブルク リックで起動し、インストールを開始してください。
- 2. ダイアログや注意が表示された場合は、全てに肯定で答えて進んでください。
- 3. インストール終了後、OSに促された場合はPCの再起動が必要です。
- 4. USBライセンスキーをPCに挿し、緑のLEDが点灯することを確認してください。
- 5. ライセンス キー ファイルをダブルクリックしてください コントロールパネル > MT Security Settings が自動的に開きます。 購入したオプション機能の項目に "Permanent" が表示されていることを確認してください。 確認後は OK でパネルを閉じてください。
- 6. MADのインストール(Merging社製オーディオ I/O を使用する場合のみ) MADは、ASIO を AoIP である AES67 形式でネットワークに流すドライバーです。 AoIP には、PCマザー ボード上のLAN以外のLANポート(USB-LANアダプターなど)のアダプターを使用することを推奨しま す。

「MergingAudioDevice_x.x.x_Buildxxxx_x64.exe」をダブルクリックして MAD をインストールしてください。 インストール終了後、OSに促された場合はPCの再起動が必要です。

7. ANEMANのインストール(Merging社製 オーディオ I/O を使用する場合のみ)

ANEMANは、AoIP である AES67 をどの様に AES67 機器(オーディオインターフェース)に接続するか を設定するアプリケーションです。 GUI を使用して、目的のポートから目的のチャンネルへ、目的の チャンネルから目的のポートへ、高品質な信号をパッチすることができます。

「ANEMAN_x.x.x Buildxxxx_x64.exe」をダブルクリックして ANEMAN をインストールしてくださ い。インストール終了後、OSに促された場合はPCの再起動が必要です。

- 8. コントロールパネル > VS3 Control Panel を開きます。
- 9. Application に Pyramix Virtual Studio を選択します。
- 10. 「Platform」を「Native ASIO」に設定します。
- 11. 「Driver name」は、使用するオーディオインタフェースに対応するドライバーに設定し、OKでパネルを閉 じます。





VS3 Control Panel の設定例

Anubis, Horus, Hapi, Hapi MKII を使用する場合(= MAD を使うことになります)

• Driver Name:で「Merging Audio Driver」を選択してください。

Merging Technologies Virtual Studio Settings				
Applicatio	on Pyramix Virtual Studio	~		
Platform	Native - ASIO	~		
Driver name:	Merging Audio Device $\qquad \sim$			
[Applicatio Platform Driver name:	Application Pyramix Virtual Studio Platform Native - ASIO Driver name: Merging Audio Device		

MADの設定

MAD の設定についての詳細はMADのマニュアルを御覧ください。

メインページ

- ANEMAN を使用することを前提にしていますので、MADパネルを RAV/AES67 モードに設定してください(タブを選択して 緑のチェックマーク(✔)をクリックしてください)。
- Merging社製 オーディオ I/O に接続しているネットワークアダプターを Primary adapter に 設定してください。

Advanced Settings ページ

- チャンネル数の設定
 入出力とも最大に設定してください。
 PCのハードウェア的に厳しい場合は必要な数に設定してください。
- Master ASIO host の設定 注意:一度 Pyramix を起動した後でないと Pyramix は Application の中に表示されません。一度 Default で Pyramix を起動して終了後、Pyramixに設定してください。
- Buffer Size の設定
 48 sampleに設定してください。
 全ての機器の Latency を AES67 に設定してください。

ANEMANの設定

<u>ANEMANのマニュアル</u>を参考に、同じ Sample Rate Zone に全ての機器をドラッグして入れ、適当な結線をおこなうか、<u>前章</u>でバックアップしたコネクション ファイルを Action > Recall Connection で読み込んでください。

その他の設定

• 簡易な操作を行うために、デスクトップ上にある MT Discovery を自動起動にしておくと便利です。







他社製のAD,DA コンバーターを使用する場合

- 使用するオーディオインターフェイスに付属しているドライバーをインストールしてください。
- Driver Name: で、インストールしたドライバーを選択してください。
- ASIO4ALLを使用される場合、別途ASIO4ALLをインストールする必要があります。
- ドライバーの設定は、オーディオインターフェイスに付属のマニュアルに従って下さい。

Merging Technologies Virtual Studio Settings					
	Application	Pyramix Virtual Studio	•		
	Platform	Native - ASIO	•		
−1/0 Selection Driv	ver name: ASI	04ALL v2			





MassCore ユーザー

前バージョンの Pyramix のアンインストールが前章の手順で終わったら、まず以下の手順でPyranix v15 イン ストーラーを起動してv15のインストールを完了してください。

- 1. Pyramixインストーラー(PyramixVirtualStudio_15.0.x_HotFixN_Buildxxxx_x64.exe)をダブルク リックで起動し、インストールを開始してください。
- 2. ダイアログや注意が表示された場合は、全てに肯定で答えて進んでください。
- 3. インストール終了後、OSに促された場合はPCの再起動が必要です。
- 4. USBライセンスキーをPCに挿し、緑のLEDが点灯することを確認してください。
- 5. ライセンス キー ファイル (.mtk) をダブルクリックしてください コントロールパネル > MT Security Settings が自動的に開きます。 購入したオプション機能の項目に "Permanent" が表示されていることを確認してください。 RTX64 Activation Key の項目には ライセンス番号が入力されていることも確認してください。

RTX64 Activation Key	MTRTX64-040-SM

確認後はOKでパネルを閉じてください。



Sector State And Anthenia Content of the sector of the sec T: 03-5723-8181 F: 03-3794-5283 U: http://www.dspj.co.jp

MassCore のアップデート

Pyramix v15の MassCore は、Pyramix v14の MassCore と異なるバージョン(RTX64 v4.5.1.7199)です ので MassCore のアップデートが必要です。

アップデートは次の手順で行います。

Pyramix v14(或いは古いバージョン)のアンインストール(前々章で説明) Pyramix v15 のインストール(前章で説明)

- 1. コントロールパネル > MT Security Settings の MassCore タブで MassCore の Uninstall
- 2. PCの再起動 → MassCore の正式な Uninstall
- 3. コントロールパネル > MT Security Settings の MassCore タブで MassCore の Install
- 4. コントロールパネル > VS3 Settings で MassCore の設定

※注意:MassCore のアップデート作業は、PCがインターネットに接続されていることが必須条件です。インター ネットへ接続されていることを確認してください。

※注意: MassCore は Core2Duo ではサポートされません。最低要件は QuadCore です。システム推奨事項 については、こちらを参照してください: http://www.merging.com/support/pc-config

Pyramix v15 をインストール後に、次の手順で MassCore のアップデートを行ってください。

- 1. コントロール パネル > MT Security Settings を開き、MassCore タブを開きます。
- 2. Uninstall をクリックしてください。



- 3. このアンインストールは直ぐに終了しますので、PCを再起動してください。
- 4. 再起動後、MassCore が正式にアンインストールされます。完全に終了するまで暫くお待ちください。
- 5. 再度、コントロール パネル > MT Security Settings を開き、MassCore タブを開きます。
- 6. Install をクリックしてください。







7. インストールが終了すると、再起動を求められますので再起動してください。

※注意:MassCoreをインストール後、初回の再起動にはこれまでよりも若干時間がかかります。少 し待って、MT Discovery で Merging 社製 オーディオ I/O が認識されていることを確認してください。

これで MassCore が Pyramix v15 用の MassCore にアップデートされました。

Pyramix v15 の MassCore の用意ができたら、次の設定をおこなってください。

- 8. コントロール パネル > VS3 Control Panel を開いてください。
- 9. Application が Pyramix Virtual Srudio になっていることを確認し、その下の Platform を MassCore に設定します。
- 10. Cores Allocation は デフォルトのまま、次の Network の欄を設定します。
- 11. Latency は AES67 に設定してください。
- 12. Hardwares に表示されているネットワーク アダプターにチェックが入っているはずです。
- 13. Audio Bridge は 必要ならセットしてください(PCのオーディオを録音するなど)。これは MAD の設 定に関係しますので、MAD のマニュアルを参照して設定してください。
- 14. OK をクリックして VS3 Control Panel を閉じてください。

MassCore 2 MassCore (Dedicated) 74L Gigabit Ethernet Controller (RTX64) #2 * rms @ 48, 96, 192, 384KHz) *	111	Application	Pyramix Virtual Studio						
Image: Controller (RTX64) #2 * Image: Controller (RTX64) #2 *		Platform	MassCore						
74L Gigabit Ethernet Controller (RT×64) #2 * * * Ims @ 48, 96, 192, 384KHz) ~	Cores Allocation Windows 14] 	2 MassCore (Dedic	ated)					
74L Gigabit Ethernet Controller (RTX54) #2 * * * * *	Network								
* Ims @ 48, 96, 192, 384KHz) V	Primary:	Intel 82574L	. Gigabit Ethernet Controller (RTX64) #2		×				
Ims @ 48, 96, 192, 384KHz)	Secondary:	None			×				
			AES67 (4ms @ 48, 96, 192, 384KHz)						
	Latency: Hardware Primary D — Ravenna	AES67 (4ms	⊧ @ 48, 96, 192, 384KHz)	~]				
	Latency: Hardware Primary Control Control Cont	AES67 (4ms	⊧ @ 48, 96, 192, 384KHz)	~					
Number of Channels (I/O): 8 \sim	Latency: Hardware Primary — Ravenna Audio Bridge () Disable	AES67 (4ms	: @ 48, 96, 192, 384KHz) Number of Channels (I/O);	~					
Number of Channels (I/O): 8	Latency: Hardware Primary Ravenna Audio Bridge O Disable O MT ASIO 6 (to create	AES67 (4ms	s @ 48, 96, 192, 384KHz) Number of Channels (I/O); evice in the system)	•	 				
Number of Channels (I/O): 8 Device in the system) are Connection g Audio Device in the system as a secondary I/O)	Latency: Hardware Primary Comparison Ravenna Audio Bridge O Disable MT ASIO ((to create - O Secondary (to connect	AES67 (4ms Bridge Host a virtual ASIO D: ASIO Hardware t to an existing A	s @ 48, 96, 192, 384KHz) Number of Channels (I/O); evice in the system) a Connection Audio Device in the system as a secondar	→ 3 y 1/0)	 				
Number of Channels (I/O): 8 Device in the system) are Connection g Audio Device in the system as a secondary I/O) create a Rewire Mixer in the system)	Latency: Hardware Primary Ravenna Audio Bridge Disable MT ASIO I (to create Secondary (to connec Rewire Mis	AES67 (4ms Bridge Host a virtual ASIO Di ASIO Hardware t to an existing A ker Mode (to cre-	s @ 48, 96, 192, 384KHz) Number of Channels (I/O); evice in the system) a Connection Audio Device in the system as a secondar ate a Rewire Mixer in the system)	ب ع 1/0)) ~				
	Latency:	AES67 (4ms	e @ 48, 96, 192, 384KHz)	~					
	Latency: Hardware Primary Control Control Cont	AES67 (4ms	⊧ @ 48, 96, 192, 384KHz)	~					
Number of Channels (I/O): 8	Latency: Hardware Primary — Ravenna Audio Bridge © Disable	AES67 (4ms	: @ 48, 96, 192, 384KHz) Number of Channels (I/O);	~					
Number of Channels (I/O): 8	Latency: Hardware Primary Ravenna Audio Bridge Disable (to create	AES67 (4ms	s @ 48, 96, 192, 384KHz) Number of Channels (I/O); evice in the system)	•					
Number of Channels (I/O): 8	Latency: Hardware Primary Ravenna Audio Bridge O Disable O MT ASIO F (to create O Secondary	AES67 (4ms Bridge Host a virtual ASIO Do ASIO Hardware	evice in the system)	3	 				
Number of Channels (1/0): 8 Device in the system) are Connection g Audio Device in the system as a secondary 1/0)	Latency: Hardware Primary Ravenna Audio Bridge O Disable MT ASIO I (to create O Secondary, (to connect	AES67 (4ms Bridge Host a virtual ASIO Di ASIO Hardware at to an existing A	s @ 48, 96, 192, 384KHz) Number of Channels (I/O); evice in the system) a Connection Audio Device in the system as a secondar	ب ع 1/0)	 ~				
Number of Channels (I/O): 8 Device in the system) are Connection g Audio Device in the system as a secondary I/O) reate a Rewire Mixer in the system)	Latency: Hardware Primary Ravenna Audio Bridge Disable MT ASID I (to create Secondary (to connect Ravier Mis	AES67 (4ms Bridge Host a virtual AS10 Dr AS10 Hardware t to an existing A ker Mode (to cre-	s @ 48, 96, 192, 384KHz) Number of Channels (I/O); evice in the system) a Connection Audio Device in the system as a secondar ate a Rewire Mixer in the system)	√ € 1/0)) ~				

以上で PC側の設定は 終了です。





5. オーディオ I/O ファームウェアのアップデート

Horus, Hapi, Hapi MKII, Anubis のユーザーは、最新のファームウェアを使用してください。

ファームウェアのアップデート方法は以下のリンクを参考にしてください。

- <u>Horus, Hapi ユーザー</u>
- <u>Hapi MKII ユーザー</u> (P33, HAPI MKII FIRMWARE をご覧ください)
- Anubis ユーザー

6. バックアップしたファイルの適用

バックアップしたファイルをバックアップした時と同様の手順で読み込ませてください。 以上でインストール作業は終了です。

注意:

バックアップした C:\Users\<USER NAME>\AppData\Roaming\Merging Technologies\Pyramix は -度 Pyramix を起動しないと作成されません。

一度 Pyramix を起動した後、Pyramixを終了させ、その後に上書きコピーしてください。



Sector State And Anthene State T: 03-5723-8181 F: 03-3794-5283 U: http://www.dspj.co.jp



7. トラブルシューティング 最新のトラブルシューティングガイドと FAQ セクションについては、下記を御覧ください。 https://confluence.merging.com/

インストーラーが途中で止まる場合

Pyramix v14 ではインストーラーが下図のエラーコードを出して途中で止まることが報告されました。

付 Ovatic	n x64 Installer Informatio	n	×
	Error 1500.Another installa complete that installation b	tion is in progress. You mu efore continuing this one.	st
	Retry	Çancel	

この様な場合、下記をお試しください。

- 1. タスクマネージャーを起動してください(タスクバーを右クリック>タスクマネージャーを選択)。
- 2. 「詳細」タブを開きます。
- 3. 「msiexec.exe」を選択して「タスクの終了」をクリックします。

ファイル(E) オブション(<u>O</u>)	表示(⊻)								
プロセス パフォーマンス アフ	りの履歴	スタートアップ	ユーザー	詳細	サービス				
名前	PID	状態			ユーザー名	CPU	メモリ (アクテ	UAC の仮想化	^
mDNSResponder.exe	2520	実行中			SYSTEM	00	1,216 K	不許可	
MpCmdRun.exe	5980	実行中			NETWORK	00	1,508 K	不許可	
MpCmdRun.exe	6572	実行中			SYSTEM	00	1,808 K	不許可	
MpCopyAccelerator	4336	実行中			SYSTEM	00	748 K	不許可	
msiexec.exe	4456	実行中			SYSTEM	00	5,740 K	不許可	
msiexec.exe	5176	実行中			SYSTEM	00	6,688 K	不許可	
msiexec.exe	6296	実行中			SYSTEM	00	844 K	不許可	
MsMpEng.exe	3220	実行中			SYSTEM	07	508,512 K	不許可	
NisSrv.exe	6012	実行中			LOCAL SE	00	3,216 K	不許可	
NVDisplay.Container	1660	実行中			SYSTEM	00	3,404 K	不許可	
NVDisplay.Container	5320	実行中			SYSTEM	00	11,260 K	不許可	
RavennaASIOSrv.exe	3096	実行中			SYSTEM	00	796 K	不許可	
	170	中午市			OVETENA		10 000 1/	7 =+ =1	

4. 下図のアラートが表示されます。「プロセスの終了」をクリックしてください。

タスク マネージャー		×
msiexec.exe を終	冬了しますか?	
開かれているプログラム グラムは閉じられて、保 ムプロセスを終了すると 続行しますか?	がこのプロセスに関連付 存されていないデータは3 と、システムが不安定にな	けられている場合、プロ 「べて失われます。システ こる可能性があります。
	10470%	7

- 5. この作業を全ての「msiexec.exe」に対して行ってください。
- 6. ある時点でPCの再起動がかかることがあります。再起動後がかからなければ全ての「msiexec.exe」 を終了させてPCを再起動させてください。
- 7. 再起動後インストーラーを起動すると、正常にインストール作業が行えます。





MassCore のトラブルシューティング

新しい MassCore では、MassCore NIC 基板がこれまでと異なる扱われ方をします。

PCは MassCore NIC 基板を認識すると自動的に この新しいスキームに変換します。この変換には1~2分の 時間がかかります。

MassCoreNIC 基板が新しいスキームに適切に変換されると、物理カード(下の図の青色)は「無効」として表示 され、仮想の Merging Technologies Primary Ethernet Controller(下の図の緑色)に置き換えられます。

ユントワー	夕接続		-		×
$\leftrightarrow \rightarrow \cdot$	〃 ↑ 🕎 > コントロールパネル > ネットワークとインターネット > ネットワーク接続				
整理▼			1. 1.	•	0
-	Ravenna 無効 Intel 82574L Gigabit Ethernet Cont イーサネット ネットワーク Intel(R) Ethernet Connection (7)	イーサネット 2 無効 Windows Virtual RTX64 Ethernet	イーサネット 3 識別されていないネットワーク Merging Technologies Primary Et		



: dsp Japan Ltd, 4-8-5 Nakameguro, Meguro-ku, Tokyo 153-0061 T: 03-5723-8181 F: 03-3794-5283 U: http://www.dspj.co.jp